

別儀ト並テ云ナリ、尤別儀ヲ袋ニ入ルコトハ無之、

一揃ト云ハ極別儀ノ揃クヅヲ揃ヘテ、惡キ詰茶ニ用、其中ニモ能ヲ極ソ、リト云、惡キハ別儀ソ
ソリト云、ソ、リハ揃也、之ヨリ次ヲ上ソ、リト云モアリ、又粉ト云ハ、極ノフルイカスナリ、又吟
ト云モ有之ハ、袋茶ニ仕立ル中ニ、若葉ノ葉ニ白クキラノトシテ卷葉アリ、之ヲ揃出スヲ云也、
〔甲子夜話^{十四}〕宇治茶ノ名品、初昔後昔ハ世ノ知所ナリ、然ニ上林六郎ノ年々獻品二種ノウヘニ、
バ、昔ト云ヲ獻ズ、コレハ神君家康ノ御時、六郎ノ祖掃部允ノ祖母六角祥禎ノ女ナリノ摘トコロノモ
ノ、其製ヨカリケレバ、神君戲ニバ、昔ト仰アリシヨリ、至今テ祖母昔トシ獻ズ、又神君カノ祖母
ニ若林ト云處ヲ茶園ニ賜ヘリ、因テ今其處ニ産スル茶ト雖ドモ、餘家ハ此稱ヲ以テスルコトヲ
許サズ、別ニ若林昔ナド稱呼スト云、

〔槐記〕享保十二年霜月十日、參候、濃茶ニ初むかし後むかしト云名ニ付テ、昔ノ字ニサマノノ説
アリト申ス、廿一日ニ取タル茶故ニ、昔ノ字アリナド附會シテ申スハイカバト窺フ、仰ニ家照近衛
サレバトヨ、無禪ガイツモ申セシ、唯今ノ昔ニマサリタルモノハ茶ナリ、秀吉ナドノ時分ハ、シブ
茶トテ味ノ澁キヲ用タルヲ、其後製シテ白茶ト云モノヲ出シテ、又モトノシブ茶ニナリシガド
フシテモ昔ノ白茶ガヨシトテ、白茶ニ極リシト也、初後ハ、初メテ芽ヲ出シタル眞ヲツミタルガ
初ナリ、其ワキヲカ、エタルヲ二番ニツミタルガ後也、右ノ白茶ニ極リタルカラ、昔ノ初昔ノ後
ト云心ニテ、初むかしト云也ト仰ラル、

〔好古日錄^末〕ハクムカシ

古茶書ニハクムカシト云茶ノ名アリ、余貞藤井按ルニ、散牙ハ茶ノ名品ナレバ、若散ノ字ヲ分テ、
支昔ハクムカシト讀テ、上品ノ茶ノ名トセシカ、又今初昔ト云ハ、若支昔ハクムカシノ誤リカ、廿一日ヨリ前ヲハツト云
コト其意通ゼズ、然ルニ後昔ハ初昔ヨリ名ケシナラム、